

シラバス

授業科目名	年度	学期	開講曜日・時限	学部・研究科など	担当教員	配当年次	単位数
社会情報学演習（5）（10）	2020	通年	金5	文学部,社会学専攻,社会情報学専攻(情報コミュニケーションコース),社会情報学専攻(図書館情報学コース)	安野 智子	3年次配当	4

履修条件・関連科目等

データ解析（初級・中級）、社会情報調査実習（量的）あるいは社会調査実習関連の他科目

授業で使用する言語

授業で使用する言語（その他の言語名）

授業の概要

このゼミでは、「実証データにもとづき、レポートを書く」ということを目標とします。テーマは自由です。具体的には、社会調査（質問紙調査/ウェブ調査/公開データの二次分析）を中心に、実験、インタビュー、統計資料の利用などを併用して、論文を作成します。

科目目的

前期はグループワークで公開データの二次分析を行います。後期は各自の研究テーマに従い、卒業論文/卒業研究論文（4年生）・ゼミ論文（3年生）を完成させることを目標とします。

到達目標

授業計画と内容

前期は、（1）文献購読、（2）世界価値観調査を用いたグループ研究、（3）基本的な分析手法の習得、に取り組めます。後期は、各自のテーマに従って、ゼミ論・卒業研究論文・卒業論文を執筆します。調査の実施はグループで行いますが、テーマの決定、仮説をたてる、データ分析を行う、などの作業は個別指導でも対応します。

第1回 ガイダンス+社会調査・世論調査を見てみよう（既存の社会調査データの紹介）

第2回 読書会：『多文化世界』

第3回 読書会：『多文化世界』

第4回 読書会：『多文化世界』

第5回 グループワーク：分析の準備

第6回 グループワーク：度数分布

第7回 グループワーク：基本的なグラフの作成

第8回 グループワーク：クロス集計（1）

第9回 グループワーク：クロス集計（2）

第10回 グループワーク：変数の合成

第11回 グループワーク：相関分析

第12回 グループワーク：回帰分析

第13回 グループワーク：報告書の作成

第14回 グループワーク：研究発表会

第15回～第17回 卒論・ゼミ論のための仮説と調査票の検討

第18回～第19回 調査票の配布とデータ入力

第20回 データクリーニング

第21～第26回 ゼミ論・卒論のデータ分析

第27回～第28回 卒論研究報告

なお、卒論指導（4年生）・ゼミ論指導（3年生・4年生）については、授業時間外の個人指導・グループ指導もあわせて行います。メールおよびmanaba上での指導も併用します。

授業時間外の学修の内容

授業時間外の学修の内容（その他の内容等）

ゼミで随時提示する課題図書・文献に目を通すこと。分析手法とソフトウェアの利用法に習熟するため、必ず復習すること。（希望者には補講を行う。）

授業時間外の学修に必要な時間数/週

成績評価の方法・基準

成績評価の方法・基準（備考）

平常点（50%）最終レポート（ゼミ論、卒論）（50%）で評価します。ただし、出席率が70%に満たない場合は、そのほかの課題提出状況を問わず、成績評価の対象外とします。詳細は初回の授業で連絡します。なお、4年生以上で履修する社会情報学演習（10）は卒業論文あるいは卒業研究論文の合格をもって単位が与えられます。この点くれくれもご注意ください。

課題や試験のフィードバック方法

課題や試験のフィードバック方法（その他の内容等）

アクティブ・ラーニングの実施内容

アクティブ・ラーニングの実施内容（その他の内容等）

授業におけるICTの活用方法

授業におけるICTの活用方法（その他の内容等）

実務経験のある教員による授業

【実務経験有の場合】実務経験の内容

【実務経験有の場合】実務経験に関連する授業内容

テキスト・参考文献等

【テキスト】

平井明代 『教育・心理系研究のためのデータ分析入門 第2版』東京図書, 2017.

G・ホフステード, G・J・ホフステード, M・ミンコフ著; 岩井八郎, 岩井紀子訳 『多文化世界: 違いを学び未来への道を探る』有斐閣, 2013.

【参考文献】

安藤清志・村田光二・沼崎誠(編)(2017) 『社会心理学研究入門 補訂新版』東京大学出版会.

小塩真司(2004) 『SPSSとAmosによる心理・調査データ解析: 因子分析・共分散構造分析まで』東京図書.

浦上昌則・脇田貴文(2008) 『心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方』東京図書.

その他特記事項

社会調査実習/社会情報調査実習および データ解析(初級・中級) を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

参考URL

コメント1

コメント2

新型コロナウイルス対策のため、当面の間、授業はmanabaとWebexを併用して進めます。

Webexでのオンライン授業は時間割通りの時間に開始します。

授業のmanabaおよびコースニュースを授業前日までに必ず確認するようにしてください。

教科書についてですが、『多文化世界 -- 違いを学び未来への道を探る』のほうは、前期に使用しますので、各自オンライン書店などでの購入をお願いします。

成績評価の方法には変更はありません。

コメント3

コメント4
